

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第2153回

2024年9月19日(木)

場所 例会場(関観光ホテル)

担当 会員基盤増強維持委員会

本日のプログラム 第2154回例会 2024年9月26日(木)

卓話：米山記念奨学生 ドナン フン 様

テーマ：『故郷ベトナムと架け橋』

担当：米山記念奨学委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さんこんばんは。本日のお客様をご紹介します。関市長 山下清司様

本日はお忙しいところ、関中央ロータ

リークラブ例会にお出でいただき有り難うございます。

後ほど卓話をお願いします。さて、今日はオープン例会

ということで、5名の方に参加していただきました。どう

もありがとうございます。この例会で関中央ロータリー

クラブの雰囲気を感じていただき、分からないことがあ



れば近くの会員に質問して下さい。また1度の参加だけでは分からないことも多いと思います。今日のオープン例会に限らず、いつでもゲスト参加していただけますので、何度でも足を運んでいただき、是非とも我々の仲間になっていただけますようお願い致します。先月、8日16時半過ぎ、宮崎県日向灘の深さ31キロを震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。最大震度6弱を観測し、宮崎港で50cmの津波を観測するなど、九州から四国の各地に津波が到達しました。この地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、南海ト

ラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8月8日19時15分に気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されました。そして地震から1週間経った今月15日、松村防災担当大臣が会見を開き、発表されていた「臨時情報」について、注意の呼びかけを終了すると発表しました。今回の地震を分析した京都大学の西村教授によると、南海トラフ地震の想定震源域では目立った地殻変動は確認されなかったということです。ちなみに南海トラフ地震においては、被災する地域が広範囲に及ぶことが想定されています。内閣府のモデル検討会の想定によると、震度6弱以上の地域は九州から関東にかけて広い範囲に及び、震度面積は東日本大震災と比較すると、震度7の場合96倍、震度6強で11倍、6弱で4倍となっています。また8月9日、神奈川県西部を震源とする地震があり、最大震度5弱を観測しました。この地震の震源は南海トラフ地震の想定震源域の外で、宮崎県の地震との直接的な関連は低いとみられました。この地震で東海道新幹線は一時運転を見合わせ、最終的な安全確保が終了するまで約1時間運転が停止しました。その日、私の子供が2人帰省する予定でした。20時40分頃東京発のぞみを予約していた娘は地震発生過ぎに東京駅に着き、息子は品川駅で乗車する予定でしたが、それぞれ駅で運転再開を待つこととなりました。結局子供らが予約したのぞみが発車したのは23時過ぎ、本来であれば名古屋駅に22時20分頃着く新幹線に合わせて、鶴沼まで迎えに行く予定でしたが、日付が変わった後、名古屋に着くようでは乗り継ぎの電車もないので、名古屋まで迎えに行くことになりました。名古屋駅に着いたのが零時過ぎ、そんな時間にもかかわらず名古屋駅の廻りは迎えの車やタクシーで渋滞でした。何とか24時間営業の駐車場に車を止めて、新幹線改札口についたのが零時半頃。インターネットで新幹線の運行状況を確認したところ3時間遅れ、改札前で1時間待つ羽目になりました。私の廻りには同じような迎えと見られる人が多く見られ、思いもよらない深夜の人混みでした。そして、新幹線が到着したのが1時半頃、結局家に着いたのは3時前、まさかまさかのお盆休みの始まりでした。新幹線の遅延のニュースはテレビなどで見たことはありますが、まさか自分の身に降りかかろうと

は思いもよりませんでした。これも地震の影響のひとつといえるのですが、考えようによってはこんなことで済んだのは、ラッキーだったと思います。いずれにしても今後30年の間に、70～80%の確率で起こるといわれる南海トラフ地震、心の準備は怠ってはいけなないと思いました。

*卓 話

関市長 山下 清司 様

テーマ

市長就任1年を振り返って

～しあわせなまちを未来へつなぐ～



【生年月日】昭和32年(1957)11月 66歳

【出身】関市黒屋

【最終学歴】東京農業大学 農学部 造園学科 卒業

【経 歴】昭和55年4月 関市役所入庁

農務課、税務課、生活環境課

広報課長

まちづくり推進課長(市民協働課)

商工課長

市長公室長

44年の行政経験

平成30年3月 定年退職 → 再任用

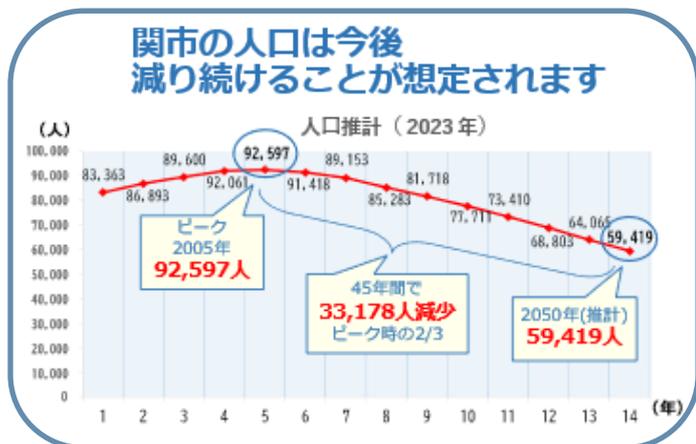
令和元年11月 副市長

令和5年9月 **第7代 関市長 に就任**



昨年の9月に就任し、新年度予算をはじめて市長という立場で編成しました。今まで副市長という立場でやっておりましたが、今年は、自分の思いを持って予算編成ができたのかなと思っています。能登半島地震や日向灘地震と2回も大きな地震が起きました。石川県氷見市とは姉妹都市になっておりますので、職員1名を1年間派遣しています。先日、その職員を応援がてら氷見市に行き、現地の様子を見てまいりました。輪島市ほどではないにせよ、氷見市でも液状化現象で道路が陥没したり、水路やマンホールが隆起したりといった状況を目の当たりにしてきました。家に住めない方や商売ができなくなった方もいらっしゃいました。こういった現状を見て、新年度予算では、今まで以上に防災対策、地震対策をしっかりとやっていかなければいけないと認識しました。また、人口減少対策もやっていかなければいけません。昨年の12月に人口問題の研究機関が消滅可能性自治体を発表しました。若い女性が減少する率が高い地域

は、自治体として消滅して行くという話です。関市は合併によりV字型の非常に広い地域になりました。人口は合併した20年前がピークで9万5千人ほどでしたが、この20年で人口が1万人減少しました。例えば、板取村では人口が1,750人だったのが現在は900人ほどで半分になりました。先程の研究機関の推計によると今後、関市は2万5千人ほど減ると言われています。



生産年齢人口に至っては2050年になると半分になると言われています。こういう状況になると、どうやって人を雇用するのかということを考えていかなければ生業が継続できないこととなります。そのためには若者に関市に残ってもらえるようにしていかなければいけません。現在、小学生や高校生などに関市や郷土のことを学んでいただく取組みをしています。小学4年生には全員に小瀬鵜飼に乗っていただくという取組みもしています。進学校である関高校では、かつて大杉にあった飛行場や武儀の山城についての研究などを行っています。こうした取組みを通じ高校生が関のことを知り達成感を感じてくれれば、関は自分のやりたいことがやれる場所なのだと感じて、再び戻ってきてもらえるのではないかと思います。昨年、関高校の先生と話をしていた際に、2年生を対象としたアンケートの中で、「将来関市へ戻ってきたいですか」という質問に対して、約4割の子が戻ってきたいと回答したと伺いました。非常にありがたいと思っております。

私が商工課にいた時には、関の企業を知っていただくことを目的に「ビジネスプラス展」という企業展や工場見学会である「工場参観日」を開催しました。工場参観日については、はじめは企業の皆さんも自分の工場を外部の方に見られることに抵抗があったようですが、少

しずつ参加企業が増えてきました。こういった取組みを通じて、少しでも多くの方に関市の企業に就職していただきたいと考えています。また、若い人に関市に残っていただくためには、女性に働きやすい職場を作っていく必要があります。そのため、新年度予算では女性用更衣室やトイレの改修などの取組みに対する補助制度も盛り込んでおります。

女性が働きやすい職場認定

関市
女性に働きやすい関市

令和6年5月1日時点で
44事業所を認定中

求人票、事業所ホームページ、市広報、ビジネスプラス展などに掲載

『市長とミライと一く』という座談会を行っています。環境や子育てといったテーマごとに出向いて行って私と10~20人ぐらいの方が膝を突き合わせて意見交換をしております。

令和6年3月スタート

市長とミライと一く

毎月1回、テーマにあった市民を募集し、関市の未来についてざっくばらんに話す機会を設けています。

また、子供を育てやすい街にするため、昨年度から、0歳から18歳までの子供に一人3万円をお配りする『せきっこ未来応援券』事業を実施しています。また、今年は『暮らしにエール商品券』として年齢に関係なく1人1万円給付する事業も実施しております。今まではプレミアムチケットという形でしたが、今年はお負担なくそのままお使い頂けるものです。なお、この事業については、新年度の実施予定はありません。

現在、さまざまな物価が高騰しているところですが、関市でも水道料金を22%値上げいたしました。多くの

ご批判、厳しいご意見をいただきましたが、水道を維持するためにはどうしても値上げせざるを得ません。1,000キロ以上の上下水道管を維持していくのは大変なことです。管の先に一軒しか家がなくとも、そこまでの管を維持していかなければいけません。管の耐用年数は40年ほどですが、今は、それ以上の年数を使っている状態で、総延長の0.7%しか更新ができていない状況です。その他、水源地や下水処理場も耐用年数がくれば更新する必要があります。

関市の水道は、安い！きれい！安全！

水道+下水道代(2か月)

★関市 **13,387円**

近隣G市 : 14,751円
 近隣M市 : 14,399円
 近隣K市 : 16,225円
 近隣MK市 : 17,654円
 近隣Y市 : 18,920円



※口径20mmを2か月で50ml利用の場合(下水道料含む)

その他の子育て政策としては、未満児の保育料について、関市は国の基準額の8割をいただいておりますが、今年からさらに値下げして6割の負担にいたしました。加えて第2子、第3子は、保育料は無料としました。また、名古屋へ通学されているお子さんに対する定期券補助については、月5,000円から1万円に倍増しました。これにより関市での就職、定住が増えればと願っています。

支援を拡充 **令和6年度～**

- 未満児の保育料
第1子：軽減幅アップ、第2子：無料
- 病児病後児保育料
3子以上養育する世帯は「無料」
- 高速名古屋線 通学定期補助
5,000円 ⇒ 10,000円

ふるさと納税については、職員が頑張っており、令和5年には県下トップの50億円を突破しました。東海三県では名古屋市に次いで多い自治体になっています。しっかりとした地場産業があり、高級包丁などの魅力的な商品があるから選んでいただけていると思っています。最近ではブリヂストンのゴルフボールが人気のようです。



人口減少に伴って子供たちの数も減ってまいります。これにより、学校規模の適正化も必要になってきています。現在、板取、洞戸では、中学校は板取川中学校一つになっています。上之保、武儀も同じく津保川中学校一つになっています。少人数学級がいいという意見もありますが、やはりある程度の人数のなかで一定の競争というものを経験できる環境にしておかないと、大人になってから苦労するのではないかと考えております。未就学児の数も減ってきており、公立施設の数を減らして民間の保育園、幼稚園を圧迫しないようにしていかなければいけないと考えております。ハード面で行きますと、任期中に子どもたちが安心して遊べる施設を整備できないかと考えています。今年の夏は非常に暑く、プールも暑すぎて遊べないというような状況になっています。子供達が、どのような天候でも遊べるような施設を作りたいと思っております。

富岡保育園・富岡小留守家庭児童教室 複合化

令和6年3月竣工



道路に関しては、舗装について皆様のご要望を多く頂いています。全長1,137キロもあるため、どうしても交通量が多いところを中心にやらざるを得ないような状況はありますが、今年度からは、舗装に重点的に予算を当てていきたいと思っています。長期的には、三星刃物やコカ・コーラがある所から中池、東山、田原へ抜ける道路がありますが、もう少し充実して、理想としては、肥

田瀬から対岸の西田原へ橋をかけて248号バイパスまで通して、田原～肥田瀬～塔ノ洞～下有知と行けるような環状線を整備したい。それによって日常の渋滞を解消したいと考えています。こういったことができるのも、尾関前市長の時に健全財政に配慮頂き、基金を人口1人あたりで41万円残していただいているためです。今後は貯めるばかりでなく、将来のために少しずつ投資をしていきたいと思っています。

***出席委員会**

会員 30 名、本日の出席17名です。

***ニボックス委員会**

・会長、副会長、幹事

山下市長、本日の卓話よろしくお願ひ致します。本日、オープン例会にご出席のお客様、ようこそお越しくださいました。よろしくお願ひ致します。

・前田 仁夫 会員

関市長 山下様のご来訪を歓迎して！！

・喜久生 明男 会員

今週は何もなく、元気でした。

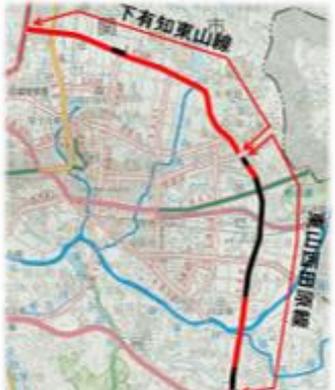
17 名のご投函ありがとうございました。

**これまでも
これからも**

**都市計画道路の
整備推進を加速**

- ・下有知東山線
- ・東山西田原線

※黒線 部分は施工済み区間
※赤線 部分は未整備区間



まもなく就任から1年経ちますが、皆さんの声を聞きながら納得いただけるような市政ができればと思っています。引き続き皆様のご支援を願ひいたします。本日はありがとうございました。

<次例会の案内>

第 2155 回 10月 13日 (日)

稲刈り体験事業

場 所 : 関市小迫間

(小川精器製作所前)

集合時間 : 8時

受付開始 : 9時～

担 当 / 社会奉仕委員会

「市民参加」

「市民協働」

市民とつくる「共創」のまち

これからも

関市民の **幸せ** のために

走り続けます

